

2012年12月5日

A320-200 型機 7 機の追加導入を決定

- ・ 現在契約済みの10号機以降の17号機までの増機
- ・ 2015年下期までに導入

Peach Aviation 株式会社(以下:Peach、代表取締役 CEO:井上 慎一、本社:大阪府泉佐野市)は、本日、2013年下期から2015年下期にかけてエアバス A320-200型機(新造機)をオペレーティングリースで導入すると発表しました。

Peach では、現在、6 機の A320-200 型機を保有しており、2013 年夏までに合計 10 機をオペレーティングリースにて導入することを発表しておりますが、今回は、2015 年末までの事業計画に基づき、さらなる航空機の導入を決定したものです。

今回の導入に引き続き、2016 年以降の Peach の事業計画に基づいた航空機調達は、2013 年初頭より開始する予定です。Peach は今後も積極的な事業拡大・路線展開にあわせ、新型機(A320neo)を含む航空機の調達・導入を進めてまいります。

■導入内容 7 機(オペレーティングリースによる導入)

■納入時期 2013 年下期～2015 年下期

■エアバス A320-200 型機について

機体諸元	全長 37.6m 全幅 34.1m 全高 11.8m
エンジン	CFM56-5B 型
装備座席数	180 席

Peach は「アジアの空をもっと近く、面白くする」をキャッチフレーズに、日本とアジアの新たな懸け橋としてネットワークを拡大し、アジア地域における人々や文化の交流の促進を目指してまいります。

Peach Aviation 株式会社について

Peach は、関西国際空港を拠点とする日本で初めての本格的な LCC として、2012 年 3 月に就航しました。現在、週 252 便を運航しています。国内線では、大阪(関西)から札幌(新千歳)、福岡、長崎、鹿児島、沖縄(那覇)の 5 路線に 1 日 13 往復 26 便を、また、国際線では、大阪(関西)からソウル(仁川)、香港、台北(桃園)の 3 路線に 1 日 5 往復 10 便を運航しています。Peach は日本における LCC の先駆者として、また、日本とアジアを結ぶ懸け橋として、安全を最優先にしながら、これまでの航空会社とは異なる仕組みから安定的な低コスト体制を実現し、365 日低価格の新しい航空サービスを提供することをミッションとしています。

ウェブサイト: www.flypeach.com

Facebook ページ: www.facebook.com/peach.aviation

YouTube 公式チャンネル: www.youtube.com/user/PeachAviation